



名古屋市内9法人会合同講演会

人が居て、私が居る。

俳優 高橋英樹氏

名古屋のみなさんこんにちは。

俳優の高橋英樹です。

誠にありがたいことに、私は今年芸歴六十四年を迎えます。

順風満帆、長い間この業界で仕事ができていることは、ファンの方々はもちろん、両親はもとより、諸先輩方、後輩たち、そして妻や娘の家族など、私をとりまくまわりのみなさまが支えてくれたからこそであることは間違いありません。

そもそも私とこの業界とは、高等学校三年生のときに受けた「日活第五期ニューフェイス募集」がすべての始まりでした。

高等学校に通っていた当時の私は、とにかく映画が大好きな少年で、週に何度も映画館に通っていたものです。

学校で行われた将来の進路に関するアンケートでは「映画俳優になりたい」と書くほど、すっかり銀幕の世界に心酔し

ていましたから。

ただ、私は幼少期からなかなか賢かったといえますか、地元では神童なんて呼ばれておりましてね。(笑)

それが高等学校入学以降、成績はつるべ落としのごとくガタ落ちになっちゃって…。

そんな体たらくを知り、教職に就いていた父は怒り狂いました。

「いつの目を覚ましてやらねば！」と、偶然新聞で日活のニューフェイス募集の広告を見つけた父は、勝手に私の願書を送ったわけです。

その目論見はもちろん、私がそれに落ちて夢破れ、正気に戻させることだったのでしょう。しかし結果、四万五千人が応募したそのオーディションに私は合格。

やっぱり、見る人が見ればわかるのでしょうね。(笑)

なりゆきはともかく、踏み込むことの

日時／令和 7 年 1 月 29 日（水）13:30 ～ 15:00

場所／日本特殊陶業市民会館 フォレストホール



できた憧れのこの業界。目にするすべてが輝いて見え、大いに胸が高まったものです。

とりわけ当時の曰活には、石原裕次郎さんをはじめ小林旭さんや吉永小百合さんといった、華やかな国民的大スターの方々がそろっていました。

みなさん本当に素晴らしい方ばかりで、随分とお世話になったものです。

懇意にしていた、ふたりの先輩方には頭が上がりません。

ひとり目が浅丘ルリ子さん。

私は、小林旭さん主演の『渡り鳥シリーズ』で浅丘さんの弟役として、映画俳優としてデビューしました。

以来、浅丘さんは私のことを本当の弟のようにかわいがってくれて、礼儀作法から演技まで、俳優として必要なものすべてを教えてくださいました。

実はこれが一番ありがたかった…という失礼なんですけれど、駆け出しの俳優はギャラが安くて、食べていくのが大



変だろーと、浅丘さんは食事の面倒も見
てくれたのです。

「実家に母親がいるから、おながすい
たらいつでもおいで」って。

素直だった私は、その言葉に甘えて
朝も昼も夜も、頻繁に浅丘さんのお母さ
んの料理をいただいたものです。

今でも、浅丘さんからお電話をいただ
くと、直立不動になってしまうほど感謝
しています。

恩人のふたり目は、歌舞伎俳優の二代
目・尾上松緑さん。

日活に入った当初、私はアイドルとし
て売り出されたのですがそこから逸脱し
ていきましてね。

なぜかという、日活には石原裕次郎
さんと小林旭さんという二大巨頭が君臨
していて、そのお二方ともスタイルが抜
群に良いのです。

しかしながら、いざ私を売り出そうと
企画会議が社内で行かれた折、「おい、高
橋は何か違うぞ。そっか、脚が短いの
か！ならば隠せ！」となったそう。

ずいぶんと乱暴な話ですよ（笑）。

つまり、着物を着せちゃえば脚の短さ
がわからないだろうと。

それからというもの、日本舞踊の藤間
流トップの尾上さんのもとに足繁く通い、





しっかりと稽古をつけていただきました。おかげさまで、時代劇ではナンバーワンといわれる俳優・高橋英樹が誕生したのです。(笑)

そして、このお二方と同じく、私がここに至るまで欠かせないのは妻の存在です。本当にいい奥さんなんですよ。

まず、美人でかわいい。それに頭も良くて品も良い。なによりセンスが良い！この私を選んだくらいですから。(笑)

ありがたいことに結婚五十一年目。

次はダイヤモンド婚を目指しています。こつやつてずっと続けられるように。というものは、身に沁みますね。

結婚生活とあわせて私の中で胸を張れる継続中のことがもうひとつあります。

それは『確定申告』の初日申告です。

今年で四十七年目を数えます。

やっぱり気持ちが良いですね。とはい

え、私は普段のお小遣い帳や領収書などを妻に渡すだけで、あとは彼女が何とかしてくれるので頭が上がりません。(笑)

今では娘の真麻も結婚し、ふたりの孫もあり、しあわせを噛みしめている毎日です。

だからこそ、人への感謝を忘れてはいけません。ね。

ともかくにも、人はひとりでは生きていけません。たくさん仲間に支えられ、今までやってこられた私自身、これからも健康に気をつけ、趣味などを楽しみ、いつも笑顔で、日々邁進していきたいと思っています。

このたびはありがとうございました。

この記事は令和六年二月二十六日(金)の講演を要約したものです。

文責 公益社団法人 名古屋西法人会

たかはし ひでき氏 俳優

1944年、千葉県生まれ。17歳のとき、日活オーディションを受け合格。その後、数多の映画やドラマなどに出演。城めぐりや書画の作成など趣味多彩。あたたかい瞳が魅力。